

令和4年度 施政方針

黒土町長の施政方針。少子高齢化・人口縮小社会の到来を見据え、財政健全化のため施策・公共施設の合理化を進める決意を表明する一方、JAとの連携イベントの継続・拡大によるブランド力の強化、スポーツによるまちづくりにも意欲を見せました。

持続可能な未来のため

必要な合理化を

市町村合併で福智町が誕生してはや17年目、これまで福智町の先人たちは、町の発展のため尽力してきましたが、少子高齢化の進展、人口減少による財源縮小に加え、市に選ばれた福智町が生き残つて行くためには、ソフト・ハード両面で大胆な合理化を図り持続可能な体制を構築することが不可欠です。合併当時から「人口20万都市と同規模の公共施設がある」と言われ、その管理に多額の費用を費やしながら、昨年度末赤池・方城両支所、コスモス診

療所を廃止することになりました。公共施設の合理化は今後も進めていく所存です。人件費については合併当時から大幅減ですが、さらなる削減が必要です。

暗い話ばかりではありません。3月にJALと連携したふれあい塾でのミシュラン一つ星店のデイナーライブ「ダニンガーアウト」は大成功。一年前フットサルチーム「ボルクバレット北九州」と、3月にはバレーボールチーム「カノアラウレアーズ福岡」と協定を結びました。子どもは夢を見、感動し、選手の勇気から学び、選手には地域に根ざした活動を通じて町民の健康増進の一環を担つていただき、スポーツを通じて地域活性化を図り、さらにはスポーツ施設の整備などで魅力的なまちづくりを目指します。

ここには書き切れない施策は以下に記すことさせていただきます。町民の皆さんには今後も町政運営にあたりご理解ご協力を心からお願い申し上げまして、ご挨拶をいたします。

大学生1人あたり10万円を給付

01 行政機構改革

- 保健課と福祉課を健康子育て支援課と高齢障がい福祉課に再編
- 税務課と住民課を税務住民課に統合
- 人権・同和対策課を人権推進課に名称変更、隣保館係を移設

助言・指導による危険家屋の解消

- 消防団員の待遇改善
- 消防団員の定数見直しと分団再編
- を含めた配備体制の整備

06 地域振興

- 福智町地域公共交通計画に基づく新たな交通ネットワークの形成の検討
- 1億2千万円分の町内経済効果を創出する「福智アーバン商賈券」の発行
- コロナ禍で落ち込んだ町内飲食需要を回復させる「福智グルメキャンペーン」の実施

08 農林業振興

- 高品質な作物の収穫量向上と農業の動力省力化を目指す農地基盤整備事業の推進
- 上野地区の国土調査(過年度)の推進
- 農事組合法人設立の実現に向けた協議
- 機械導入補助事業や研修費用助成による農業の担い手の育成
- 畜友会と連携した有害鳥獣対策強化
- 上野地区の原宿庄土地改良整備事業実施に係る基礎調査及び工事
- 金ノ口遺跡の地積測量

02 包括業務委託

- 年々多種多様化が進む住民のニーズに応えるため今年度から3年間、行政事務の一部を包括業務委託により民間事業者に委託

助言・指導による危険家屋の解消

- 消防団員の待遇改善
- 消防団員の定数見直しと分団再編
- を含めた配備体制の整備

03 防災

- 老朽化が進む防災行政無線システムの再構築
- 情報伝達方法の多様化に対応するための防災行政無線の改修
- 地域・自主防災組織への伝達手段を構築、自主防災組織の設立や育成

助言・指導による危険家屋の解消

- 年々多種多様化が進む住民のニーズに応えるため今年度から3年間、行政事務の一部を包括業務委託により民間事業者に委託

04 DX推進

- 業務をデジタル化し、効率化することによって生産向上につながる変革を目指す

助言・指導による危険家屋の解消

- 老朽化が進む防災行政無線システムの再構築
- 情報伝達方法の多様化に対応するための防災行政無線の改修
- 地域・自主防災組織への伝達手段を構築、自主防災組織の設立や育成

05 公有財産

- 本庁舎の増改築工事に着手
- 遊休町有地を宅地造成し分譲
- 更新時期を迎える施設の統廃合や長寿命化

助言・指導による危険家屋の解消

- 老朽化が進む防災行政無線システムの再構築
- 情報伝達方法の多様化に対応するための防災行政無線の改修
- 地域・自主防災組織への伝達手段を構築、自主防災組織の設立や育成

06 地方創生

- 「上野焼振興計画」の支援による国指定伝統的工芸品の活性化
- 地域ブランド化を推進するための計画立案
- 包括連携協定を結ぶ日本航空との人事交流などの継続・強化
- 國の基準を順守した創意工夫によるふるさと納稅の魅力の深化
- 家計に負担がかかっている大学生等がいる世帯に対し福智町独自に

助言・指導による危険家屋の解消

- 老朽化が進む防災行政無線システムの再構築
- 情報伝達方法の多様化に対応するための防災行政無線の改修
- 地域・自主防災組織への伝達手段を構築、自主防災組織の設立や育成

07 人権推進

- 福智町自殺対策計画「いのちを支える福智町」の推進
- 今年4月1日時点で43歳～60歳男性を対象とする風しん抗体検査及び定期予防接種の積極的推奨
- 球菌ワクチン、妊娠希望者などへの風しん予防接種の積極的推奨
- 定期予防接種に加え、高齢者の肺炎球菌ワクチン、乳幼児の麻疹・風しん対策、乳幼児の麻疹・風しん・水ぼうそう等の任意予防接種の一部に対する助成事業の継続実施
- 子育て世代(包括支援センター)における子育ての相談・支援業務の継続

助言・指導による危険家屋の解消

- 福智町後期高齢者医療広域連合と連携した安定的な制度運営の推進
- 社協委託の包括支援センターと連携して高齢者の心身の健康を増進・民生委員による独居高齢者の見守り

08 農林業振興

- 「福智町部落差別の解消の推進に関する条例」に基づく取組の推進
- 新築住宅資金等の滞納金徴収を強化
- 旧大型作業所の財産処分
- 「福智町補助金交付規則」に基づく各種団体助成金の適正化
- 崖の下・福丸両納骨堂の解体
- 各種団体助成金の適正化

助言・指導による危険家屋の解消

- 福智町部落差別の解消の推進に関する条例」に基づく取組の推進
- 新築住宅資金等の滞納金徴収を強化
- 旧大型作業所の財産処分
- 「福智町補助金交付規則」に基づく各種団体助成金の適正化
- 崖の下・福丸両納骨堂の解体
- 各種団体助成金の適正化

09 こども医療

- 町独自負担による中学3年生までの医療費無料化の継続実施
- 情報伝達方法の多様化に対応するための防災行政無線の改修
- 合併処理浄化槽整備の推進

助言・指導による危険家屋の解消

- 老朽化が進む防災行政無線システムの再構築
- 情報伝達方法の多様化に対応するための防災行政無線の改修
- 合併処理浄化槽整備の推進

10 国保・衛生

- 生活習慣病の予防とがんの早期発見のための住民健診の実施及び細やかな保健指導
- 「生涯にわたる切れ目ない健康づくりの支援」を目指した健康増進計画の推進
- 福智町自杀対策計画「いのちを支える福智町」の推進

助言・指導による危険家屋の解消

- 老朽化が進む防災行政無線システムの再構築
- 情報伝達方法の多様化に対応するための防災行政無線の改修
- 合併処理浄化槽整備の推進

11 後期高齢者医療

- 福岡県後期高齢者医療広域連合と連携した安定的な制度運営の推進
- 社協委託の包括支援センターと連携して高齢者の心身の健康を増進・民生委員による独居高齢者の見守り

助言・指導による危険家屋の解消

- 老朽化が進む防災行政無線システムの再構築
- 情報伝達方法の多様化に対応するための防災行政無線の改修
- 合併処理浄化槽整備の推進

12 社会福祉

- 「福智町部落差別の解消の推進に関する条例」に基づく取組の推進
- 新築住宅資金等の滞納金徴収を強化
- 旧大型作業所の財産処分
- 「福智町補助金交付規則」に基づく各種団体助成金の適正化
- 崖の下・福丸両納骨堂の解体
- 各種団体助成金の適正化

助言・指導による危険家屋の解消

- 老朽化が進む防災行政無線システムの再構築
- 情報伝達方法の多様化に対応するための防災行政無線の改修
- 合併処理浄化槽整備の推進

13 障がい福祉

- 「地域生活支援拠点」の準備
- 災害時等に障がい児の入所施設と連携した緊急入所への対応
- 手話言語条例に基づく施策の推進

助言・指導による危険家屋の解消

- 老朽化が進む防災行政無線システムの再構築
- 情報伝達方法の多様化に対応するための防災行政無線の改修
- 合併処理浄化槽整備の推進

14 児童福祉

- 保健師や看護師を配置し、児童虐待等への相談に応じる子ども家庭待等への相談に応じる子ども家庭
- 総合支援拠点の設置

助言・指導による危険家屋の解消

- 老朽化が進む防災行政無線システムの再構築
- 情報伝達方法の多様化に対応するための防災行政無線の改修
- 合併処理浄化槽整備の推進

15 保健事業

- 生活習慣病の予防とがんの早期発見のための住民健診の実施及び細やかな保健指導
- 「生涯にわたる切れ目ない健康づくりの支援」を目指した健康増進計画の推進
- 福智町自杀対策計画「いのちを支える福智町」の推進

助言・指導による危険家屋の解消

- 老朽化が進む防災行政無線システムの再構築
- 情報伝達方法の多様化に対応するための防災行政無線の改修
- 合併処理浄化槽整備の推進

16 新型コロナ

- ワクチン接種で感染確率の減少、重症化を防ぐ効果が期待できます。
- 11歳以下の小児への接種体制の整備推進

助言・指導による危険家屋の解消

- 老朽化が進む防災行政無線システムの再構築
- 情報伝達方法の多様化に対応するための防災行政無線の改修
- 合併処理浄化槽整備の推進

17 人権推進

- 安全運転支援装置を設置した(国)の「サポカー補助金」を受けていない町内在住の65歳以上の方に必要経費の半額(上限5万円)を助成

助言・指導による危険家屋の解消

- 老朽化が進む防災行政無線システムの再構築
- 情報伝達方法の多様化に対応するための防災行政無線の改修
- 合併処理浄化槽整備の推進

18 建設事業

- 国や県からの交付金を有効活用し、た道路・橋梁等の点検・調査・修繕・補修等、適正な維持管理
- 通学路の安全確保に配慮した道路改良事業の推進
- 補助金を活用した農業用施設の整備

助言・指導による危険家屋の解消

- 老朽化が進む防災行政無線システムの再構築
- 情報伝達方法の多様化に対応するための防災行政無線の改修
- 合併処理浄化槽整備の推進

19 町営住宅

- 福智町営住宅長寿寿命化計画に沿う町営住宅の建て替え事業と維持修繕の推進と払下げ可能な団地の払下げ
- 住宅使用料滞納者への督促・催告・明け渡し訴訟等や未収金の回収強化
- 定住人口増加を促進する民間住宅の助成

助言・指導による危険家屋の解消

- 老朽化が進む防災行政無線システムの再構築
- 情報伝達方法の多様化に対応するための防災行政無線の改修
- 合併処理浄化槽整備の推進

20 交通安全

- 道路交通法に基づく運転免許証主返納を行った上で満70歳以上かつ町税等完納者に平成筑豊鉄道
- 渋渕団地・平原団地の住戸改善事業

助言・指導による危険家屋の解消

- 老朽化が進む防災行政無線システムの再構築
- 情報伝達方法の多様化に対応するための防災行政無線の改修
- 合併処理浄化槽整備の推進

21 マイナンバー

- 各課